

2017年1月19日

大阪大学×梅花女子大学×凸版印刷

梅花女子大学所蔵

中井終子日記を通して探る vol.2

懐徳堂研究と女学生文化

<シンポジウム開催のお知らせ>

梅花女子大学は、大阪大学懐徳堂研究センター・凸版印刷株式会社と共に、産学連携の取り組みの一環としてグランフロント大阪において、シンポジウムを開催致します。

大阪において、江戸期より漢学の学問所として多くの門下生を輩出した懐徳堂。歴代に渡りその学主を務めた中井家の子孫・中井終子^{しゅうこ}は、梅花女学校の教員でした。終子が保管していた明治・大正期の貴重な写真や日記は、現在本学で所蔵しており、凸版印刷株式会社の協力の下、今回資料のアーカイブ化の第二弾を実施。

明治の末に盛んになった懐徳堂顕彰運動に取り組んだ大阪人文会の歴史や、終子が勤務した梅花女学校の写真をもとに明治初期の女学生文化についての講演を交え、懐徳堂研究の新たな可能性と、その時期の女性の生き方やライフスタイルの変化についてひも解きます。

報道関係者様におかれましては、ぜひ取材など取り上げていただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

イベント内容と日程の詳細は以下の通りです。

【「懐徳堂研究と女学生文化」シンポジウム】 参加無料／事前申込不要

■日時：2017年1月22日(日) 13:30 - 16:00(開場 13:00)

■会場：グランフロント大阪北館ナレッジキャピタル「The Lab.」2F アクティブスタジオ

■シンポジウム内容

<懐徳堂顕彰運動と大阪人文会> 島根大学 教育学部 教授 竹田健二

<中井終子日記を読む〜くずし字 OCR のご紹介〜> 凸版印刷株式会社 関西情コミ販促部 末吉敬子

<梅花女子大学所蔵写真からひも解く女学生文化> 梅花女子大学 文化表現学部 教授 好田由佳

懐徳堂と中井終子

懐徳堂は、享保9年(1724年)、大坂町人によって創設された漢学の学問所で、以後約140年に渡って多くの門下生を輩出し、大坂学術の発展と商道德の育成に貢献した。現在の大阪大学の源流とされる。

懐徳堂4代目学主・中井竹山^{ちくざん}の曾孫にあたる中井終子^{しゅうこ}は、懐徳堂の再建に貢献した兄・木菟麻呂^{つぐまろ}と共に、梅花女子大学の教員として女子教育に尽くした。

この件につきましてのお問い合わせ等は、発信者：藤原・武田までお願い致します。

住所：〒567-8578 大阪府茨木市宿久庄2-19-5

TEL：072-643-6343（直通） FAX:072-643-6277

担当：企画部広報グループ 藤原・武田

E-mail：kikaku@baika.ac.jp

学校法人 梅花学園

梅花女子大学/大学院

梅花高等学校

梅花中学校

梅花幼稚園

大阪大学×梅花女子大学×凸版印刷 “シンポジウム開催”

取材申込書

大変お手数ですが、卒なくご対応させていただくため、取材ご希望の際は事前にご一報いただくか、下記のご記入・ご返信をお願い致します。また、当日はこの取材申込書をお持ちいただきますよう、よろしくお願い致します。

FAX 072-643-6277

E-mail 送信先 kikaku@baika.ac.jp

貴社名 (ふりがな)	
お名前 (ふりがな)	
TEL	
FAX	
E-mail	
当日取材人数	名

●取材に関するお問い合わせ先

学校法人梅花学園 企画部広報グループ

〒567-8578 茨木市宿久庄 2-19-5

TEL : 072-643-6343 FAX : 072-643-6277